

アカデミック版は
ズッコケ版: No.39としてすでに出ております。

WRO 速報

NO.40

1982年12月3日、
夜明けも近いころ
超新星の残骸であるIC443を
観測中に月が視野に入ってきて
ビックリ。深い雲のなかに月
がみずかに光っておりました。

45m電波望遠鏡
IC443
観測中に
月の電波
受信!

ありがたいも
めづらしきことに
おめでとう
おめでとう

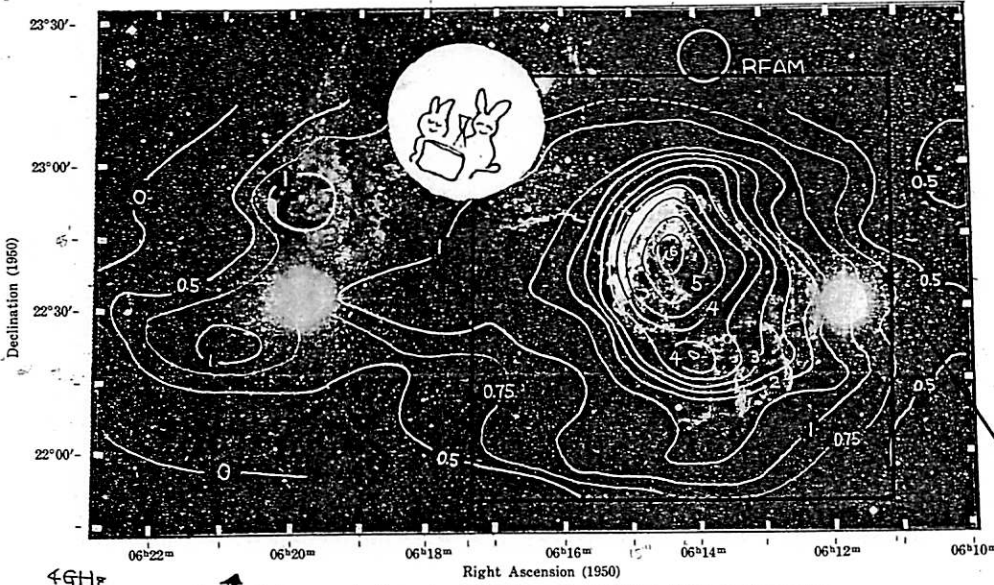


Fig. 1 Contour map for the region of IC443 in units of 0.33K in brightness temperature. その昔、度々で4GHzで観測したIC443。

234
H. HIRAHAYASHI and T. TAKAHASHI
[Vol. 24]

ひびきしに
おめでとう
おめでとう
おめでとう

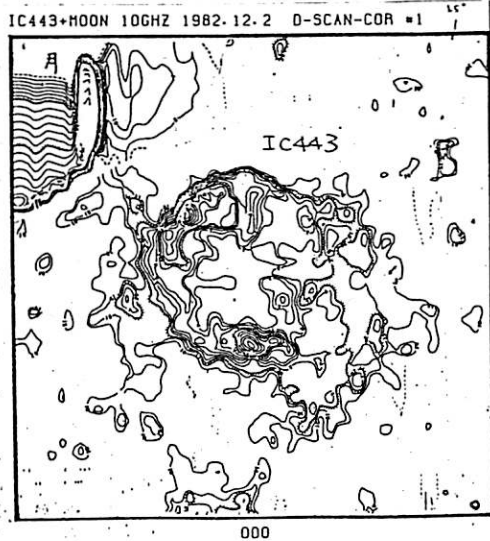
おめでとう
おめでとう
おめでとう

おめでとう
おめでとう
おめでとう

おめでとう
おめでとう
おめでとう

おめでとう
おめでとう
おめでとう

↑
この図(パノラマ写真)
のなかには、二つの明るい
近距離星、HII領域
のなかに光る若い星々、
そして超新星残骸である
IC443、さらにこれに関
係するとみられるパルサー
PSR 0611+22 がみられ
ます。あ、そうぞう、お月さま
も! まさに各種天体の
オンパレードです。



↑
お月さまの温度は絶対温度で
210Kぐらい。IC443に較べると
圧倒的な明るさです。

↑今回の観測(パノラマ)

平安時代に燃焼
した(1054年)
カニ星雲の場合
は、明かしく月ほ
どに輝いていたと
いうことが藤原定家
の「明月記」に引用
されています。

おめでとう
おめでとう
おめでとう

おめでとう
おめでとう
おめでとう